

マンダムグループの沿革

▶経営全般 ▶研究・商品開発・マーケティング

1927-1969

- 1927.12 ▶「金鶴香水株式会社」設立
- 1932.11 ▶ 西村新八郎、取締役社長に就任
1933. 4 ▶「丹頂チック」発売
一世を風靡する大ヒット商品となり、企業基盤を確立
1958. 4 ▶ フィリピン・マニラ市にて海外事業の第一歩となる
技術提携会社、丹頂コーポレーションが稼働
1959. 4 ▶ 社名を「丹頂株式会社」に変更
1961. 5 ▶ 西村彦次、取締役社長に就任
- 1966.11 ▶ 会長 西村新八郎逝去(3日)
- 1969.11 ▶ インドネシア・ジャカルタ市に合併による現地法人
P.T.Tancho Indonesiaを設立
(現・連結子会社 PT Mandom Indonesia Tbk)



1970-

1970. 6 ▶ 輸出貢献企業として通商産業(現・経済産業)大臣の
表彰を受賞('71、'72年にも受賞)
- 7 ▶「マンダムシリーズ」発表会を開き、
9品種10品目の発売を発表
キャラクターには日本で初めてハリウッドスターを起用
(チャールズ・ブロンソン氏)
1971. 4 ▶ 社名を「株式会社マンダム」に変更
- 1972.10 ▶ 日本ドクタ・ルノー化粧品(株)設立
(現・連結子会社(株)ピアセラボ)
1976. 3 ▶ 福岡工場が竣工、操業開始
1978. 5 ▶ 代理店経由販売から、販売店直接取引(直販)に移行
- 7 ▶「ギャツビー」「スポルディング」、
業界で初の2ライン同時発売



1980-

1980. 4 ▶ 販売店直接取引(直販)から、代理店経由販売に移行
- 8 ▶ 西村育雄、取締役社長に就任
1982. 4 ▶ 第1次中期5カ年経営計画(MPプロジェクト)スタート
- 9 ▶ 美容院ルートに新しいヘアケアシステムの提案となる
「バリアッチ」ライン発売
- 10 ▶ インドネシアにて「ピクシー」発売
1983. 4 ▶ 新しいCISシステムの導入により、
シンボルマークなどの外見要素を変更
1984. 4 ▶ 情報カードシステムを導入
- 7 ▶ 女性マス市場への第1弾として、
ティーンズ向け「ピュセル マイリップ」発売
1985. 2 ▶ 訪問販売による女性化粧品市場参入
- 3 ▶「ギャツビー」から店頭販売初の男性用ヘアフォームを発売
1986. 1 ▶ 社外監査役の設置
- 9 ▶ 福岡工場エアゾール棟建設
1987. 4 ▶ 第2次中期3カ年経営計画スタート
- 11 ▶ インドネシアにて女性コスメティック
「ピクシー モイスチャーリップスティック」発売
1988. 2 ▶ シンガポールにて現地合弁会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Corporation (Singapore) Pte. Ltd.)
- 11 ▶ 株式を店頭公開
- ▶ 公募増資により50万株を発行
1989. 3 ▶ 主力フォーム、(株)日本環境協会より業界で初のエコマーク認定
- 8 ▶ 日本ドクタ・ルノー化粧品(株)を
(株)ピアセラボに社名変更
- 9 ▶ 業界で初めての無香料男性化粧品
「ルシード」発売
- 12 ▶ 台湾にて現地合弁会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Taiwan Corporation)



1990-

1990. 4 ▶ 第3次中期3カ年経営計画スタート
- ▶ タイにて現地合弁会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Corporation (Thailand) Ltd.)
- 7 ▶ 販売助成金の廃止による建値の改正
1991. 4 ▶ マンダム東京支店ビル竣工
1992. 2 ▶ フィリピンにて現地合弁会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Philippines Corporation)
1993. 2 ▶ マンダム本社ビル第1期工事竣工 新社屋で営業開始
- 4 ▶ 第4次中期3カ年経営計画スタート
- 7 ▶ 香港にて現地合弁会社スタート
(現・持分法適用関連会社 Sunwa Marketing Co., Ltd.)
- 9 ▶ 無香料女性ヘアメイクライン「ルシードエル」発売
- ▶ P.T.Tancho Indonesia、
ジャカルタ証券取引所
(現・インドネシア証券取引所)に上場
1994. 6 ▶ マンダム本社ビル、第2期工事を終え完成
1995. 6 ▶ 西村元延、取締役社長に就任
- ▶ 社外取締役の設置
1996. 4 ▶ 第5次中期3カ年経営計画スタート
- ▶ ホームページ「マンダムワールド」開設
- 12 ▶ 中国にて現地合弁会社スタート
(現・連結子会社 Zhongshan City Rida Cosmetics Co., Ltd.)
1997. 1 ▶ マレーシアにて現地合弁会社スタート
(現・連結子会社 Mandom (Malaysia) Sdn. Bhd.)
- 4 ▶ (株)公南サービス設立(現・(株)エムビーエス)
1998. 8 ▶ 170万株の自社株公開買付を実施
1999. 3 ▶「ギャツビー」が男性化粧品ブランドとしては業界初の
100億円の売上を突破
- 4 ▶ 第6次中期3カ年経営計画スタート
- 8 ▶ 韓国にて現地合弁会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Korea Corporation)



2000-

2000. 5 ▶ 取締役相談役 西村育雄逝去(23日)
- 8 ▶ 単元株式数を1,000株から100株に変更
- 11 ▶ 福岡工場と物流センターで環境マネジメントシステムの
国際規格ISO14001の認証を取得
2001. 3 ▶ PT Mandom Indonesia Tbk チビトン工場稼働
- ▶「ギャツビー ヘアカラーシリーズ」発売により
男性黒髪用ヘアカラー市場を創造
- 6 ▶ 執行役員制度導入
- 8 ▶ 233万株の自社株公開買付を実施
2002. 1 ▶ 東京証券取引所市場第二部に株式上場
- 3 ▶ マンダムグループ東京日本橋ビル竣工
- ▶「ギャツビー」ヘアカラーCM、総合第1位
(CMデータバンク:首都圏CM好感度調査)
- 4 ▶ 第7次中期3カ年経営計画スタート
- 5 ▶ アジア地域で「ギャツビー」「ルシードエル」の水平展開をスタート
2003. 1 ▶ 名誉顧問 西村彦次逝去(25日)
- 3 ▶ 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定
- ▶ 公募増資により165万株を発行



2003.10 ▶ 福岡工場がゼロエミッションを達成

- ▶ PT Mandom Indonesia Tbk
「インドネシアEVA(経済的付加価値)優良企業賞」を受賞
(’04、’05、’06年にも受賞)

2004. 2 ▶ 熱傷事故により「ギャツビー EXハイブリーチ」の
自主回収を実施(創業以来初)

- 3 ▶ 福岡工場・物流センター・生産技術室が労働安全衛生
マネジメントシステム(OHSAS18001)の認証を取得
- 10 ▶ 日本通運(株)に3PL(サードパーティロジスティクス)
業務を委託

2005. 4 ▶ 第8次中期3カ年経営計画スタート

- 6 ▶ 役員退職慰労金制度の廃止
- 11 ▶ アルカンジオール配合の
「防腐剤フリー(防腐剤無添加)処方」を開発
▶ 女性化粧品自社開発第1号「パーフェクトアシスト24」発売

2006. 8 ▶ 「ギャツビー ムービンググラバー」発売

- ▶ 33万株の自社株取得

11 ▶ マンドム本社ビルR&D棟竣工



2007. 1 ▶ 2009年の裁判員制度導入に向けて就業規則を改定

- 2 ▶ 東京証券取引所「第12回(平成18年度)
ディスクロージャー表彰」受賞
- 12 ▶ PT Mandom Indonesia Tbk 年間売上1兆ルピア達成

2008. 4 ▶ 第9次中期3カ年経営計画スタート

- 5 ▶ 中国にてMandom China Corporation設立(連結子会社)

2009. 3 ▶ 首都圏営業拠点を再編
(マンドム東京支店ビル、マンドムグループ東京日本橋ビル、
マンドム日本橋馬喰町ビルを売却)

- 4 ▶ (株)ビューコス(株)エムビーエスに吸収合併
- 7 ▶ 88,800株の自社株取得

2010-

2011. 2 ▶ 「ルシード」エイジングケアブランドへ
全面リニューアル

- 4 ▶ 第10次中期3カ年経営計画スタート
- 8 ▶ 女性コスメティックブランド「ビフェスタ」発売

2012. 3 ▶ インドにてMandom Corporation (India) Pvt. Ltd.設立
(連結子会社)2014. 2 ▶ ミドル脂臭対策の
「ルシード ニオイケアシリーズ」発売

- 3 ▶ 福岡工場の生産棟を増設
- 4 ▶ 第11次中期3カ年経営計画スタート



2015. 1 ▶ ベトナムにてMandom Vietnam Co., Ltd.設立(連結子会社)

- 6 ▶ PT Mandom Indonesia Tbk 本社・工場を
ジャカルタからプカシに移転
- 7 ▶ 大阪大学に「先端化粧品科学共同研究講座」を設置
▶ PT Mandom Indonesia Tbk 工場にて
犠牲者を伴う火災事故が発生

2016.10 ▶ 先端化粧品科学共同研究講座において
ヒトの汗腺幹細胞を発見し、生体外での汗腺様構造体の
再生に成功2017. 4 ▶ 従来の企業理念を見直すとともに、100周年に当たる
2027年でのありたい姿「VISION2027」を策定

2017. 4 ▶ 第12次中期経営計画スタート

- ▶ 働き方改革の一環として、「在宅勤務制度」を導入

10 ▶ 株式分割を実施
(普通株式1株につき、2株の割合をもって分割)

2018. 5 ▶ グループのマーケティング機能を東京・青山に集約

- 6 ▶ 譲渡制限付株式報酬制度を導入
▶ いっそうの実効性と透明性を高めることを目的に、
相談役・名誉顧問・顧問を廃止
- 8 ▶ 多様な人財の活用、および雇用の拡大を目的として
(株)マンドムウィル設立

2019. 1 ▶ マレーシアを中心に若年層の女性向けメイクアップ
ブランドなどを展開するACG International Sdn. Bhd.の
株式を100%取得(子会社化)

11 ▶ 1,903,500株の自社株取得

2020-

2021. 4 ▶ 西村健、代表取締役 社長執行役員に就任
西村元延は代表取締役 会長に

- ▶ 第13次中期経営計画スタート
- ▶ 北里大学薬学部「スキンケア共同研究講座」を開設

9 ▶ VI(ビジュアル・アイデンティティ)を刷新し、コーポレート
スローガン「BE ANYTHING, BE EVERYTHING.」を導入

- ▶ 福岡工場新生産棟竣工

11 ▶ アナフィラキシー症状を含む健康被害により、
リゾチーム塩酸塩配合5商品の自主回収を実施2022. 4 ▶ 東京証券取引所の市場区分の見直しにより、
市場第一部からプライム市場に移行6 ▶ 「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」の最高ランク
「三つ星認証企業」に認証

- ▶ TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への
賛同を表明し、TCFDコンソーシアムへも加入

10 ▶ 「ギャツビー スペースシャワーペーパー」が
国際宇宙ステーション(ISS)搭載品として宇宙へ2023. 4 ▶ 「MHRX(Mandom HR Transformation)」の一環として
ジョブ型の新人事制度を運用開始9 ▶ 第33回国際化粧品技術者会連盟(IFSCC)
バルセロナ大会 2023でポスター部門「最優秀賞」を初受賞

2024. 4 ▶ 第14次中期経営計画スタート

2025. 3 ▶ 株式会社SQUIZと資本業務提携を締結